

平成28年第4回定例会の開会にあたり、教育行政報告を申し上げます。

1 北海道公立学校校務支援システムの導入について

まず始めに、北海道公立学校校務支援システムの導入についてであります。児童生徒の出席簿や成績の管理をはじめ、指導要録、通知表の作成など、校務の効率化や事務負担の軽減を目的に、10月1日から導入したところであります。

本システムは、北海道教育委員会が道内小中学校向けの統一ソフトとして開発したものであり、本システムの導入により、教職員の事務処理作業時間の短縮に繋がり、児童生徒と向き合う時間や、授業準備などの時間が増すことが期待されるものと考えているところであります。

2 北広島市教育研究会研究中心校発表会について

次に、北広島市教育研究会研究中心校発表会についてであります。11月11日に双葉小学校と緑ヶ丘小学校におきまして、開校5周年の節目に、これまで行われてきた教育活動の成果発表として、教職員、保護者、地域の皆様が参加して行われたものであります。

双葉小学校では、「自分の考えをのびのび表現する子の育成」、緑ヶ丘小学校では、「よりよい人間関係を築く力の育成」を研究主題とし、公開授業と分科会方式による研究協議が行われ、活発な議論が繰り広げられました。また、統合後の両校の教育成果を地域の皆様に知っていただく機会ともなりました。

今後、発表会の成果が、市内各校の教育活動の充実に寄与するものと考えているところであります。

3 小中一貫教育の推進について

次に、小中一貫教育の推進についてであります。これまで講演会形式での教育を語る会や、教員を対象としたワーキング・グループ研修会を開催し、平成30年度に向けた本市が進める小中一貫教育の基本的な方向性について、情報共有に努めるとともに、各中学校区の間で取組について交流したところであります。

また、11月26日には、市内3箇所で開催した第2回目の教育を語る会を開催し、市民への理解を一層深めていきたいと考えているところであります。

なお、11月21日には、教育委員や小中一貫教育推進検討準備委員会の構成員とともに、先進地である広島県呉市の視察を行ったところであります。

以上申し上げ、教育行政報告といたします。